



デュエルスペースは40席設けた

マッチングワールド

ホビー店で初のデュエルスペース

中古トレカ充実、買取りも

ホビーショップ「まちキャラ」を運営するマッチングワールド(東京都中央区)は、9月20日に埼玉県さいたま市の大型商業施設「コクーンシティ」に新店舗をオープンした。トレカやガンブラを中心に、ファミリー層向けの商品ラインナップを充実させた。また、同社で初めてデュエルスペースを設けた。オープン日には300人以上の来店者が行列を作るなど、想定以上の集客があった

という。まちキャラは今回のコクーンシティ店で、4店舗目となる。秋葉原店や千葉駅西口店は、トレカやガンブラといったマニア向けの商品を多数揃えた専門性の高い店舗で、特に高価なトレカが充実している。一方、昭島モリタウン店や今回のコクーンシティ店は、商業施設内という立地を活か



まちキャラ統括店長 梅木裕康氏

し、食玩やゲームソフトなどファミリー層をターゲットにした商品ラインナップが特徴だ。同店では、新品を中心に取り扱っているが、人気の高いポケモン、ワンピース、ドラゴンボール、コナンなど、さまざまな中古トレカも充実している。実際、店内在庫の約5割を中古トレカが占める。

40席あるデュエルスペースでは、既にポケモンカードやワンピースカードの非公認大会が週末に開催されており、カードゲームファンの交流の場として賑わっている。まちキャラ統括店長の梅木裕康氏は「公認イベントの開催を行っていき、店舗の認知度も高めていきたい」と話す。

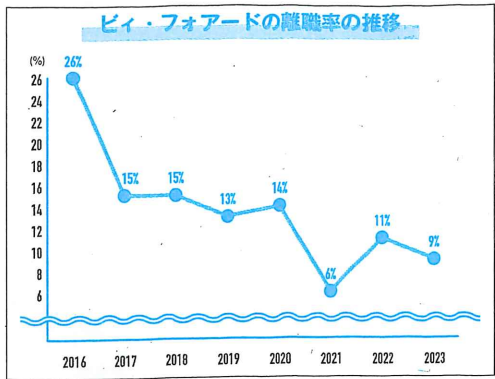
10月からトレカの買取りも開始した。買取りノウハウを持つスタッフを他店から配属し、未経験のスタッフも十分なトレーニングを受け、安心して

バックマーケットジャパン

リファビッシュ品のスマホに新品バッテリーが選択可能に

るオプションを追加した。従来はバッテリー容量80%以上が保証されたリファビッシュ品のみの提供だったが、確実に100%の容量がほしいという多くのお客の声にこたえる形で実現した。リファビッシュ品とは、中古品として回収された電子機器を専門家が検査・クリーニング・修理し、全ての機能が正常動作が確認されている整備済製品のこと。

て買取り業務を行えるような体制を整える。月間売上1000万円を目標とする。



している。2016年は26%だったが、2019年は13%、直近の2022年は7.9億円と伸びている。業績拡大の要因の一つは、エリアの拡大だ。現在207の国と地域で取引している。「以前アフリカを担当し今はカリブで活躍するスタッフがいるなど、長く在籍するスタッフ

が増えることで新しいマーケット開拓につながっています。また正社員286名のうち外国人が28%のため、社内でも英語と接するべきかなど、語学力だけではなくコミュニケーションがとれるのも、長く働く従業員が多い会社ならではの」と富山龍総務部人事・総務グループスーパーバイザーは話す。離職率の改善の効果を

またミスマッチを防ぐ採用活動にも注力している。現在は現場マネージャーを含め計3人が面接

海外中古市場データ (日本→海外) 2024.9.1-9.30

海外中古市場データ (日本→海外) 2024.9.1-9.30

	電気製品	その他製品
輸出総額	1億8492万円	3億815万円
輸出総数	114,333個	697,023個

■コメント
●アジア/ミャンマーでは輸送に問題があり、自転車やバイクの倉庫まで運ばずに国境近くで滞留している。乾季に入る10月半ば以降、物が運べるようになれば好転すると思われる。フィリピンでは全自動洗濯機や大型冷蔵庫の販売は赤字になってしまったため、販売が難しいという声が増えている。ミニ冷蔵庫の需要は高いものの、一部顧客より「飽和状態になりつつある」との声もある。
●中東/ドバイ向けは運賃が少しだけ下がってきているものの
●南米/チリではナンバー編み機、アンプやスピーカーの他。
※9月25日号に掲載した輸出総額の数値に間違いがありました。
電気製品/2億1686万円 その他製品/3億3457万円

■国別比率
電気製品
ヨーロッパ 1.0%
北米 1.0%
アフリカ 2.0%
中南米 2.0%
その他アジア 14.0%

を担当し、語学力だけではない組織やチームに合う人材が見極めを行う。同社は現在上場準備中で、今後も人事面や働き方の改革を進めていく。